

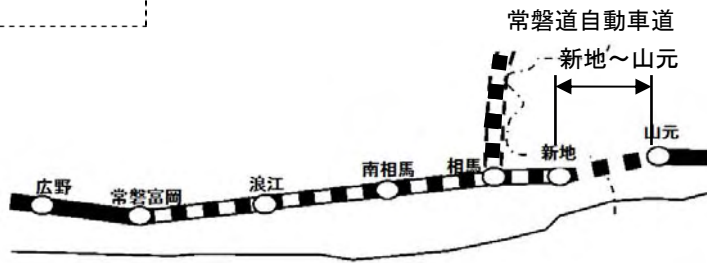
再評価結果(平成24年度事業継続箇所)

担当課:道路局 高速道路課

担当課長名:縄田 正

事業名	常磐自動車道(新地～山元)		事業区分	高速自動車国道	事業主体	東日本高速道路(株)
起終点	自:福島県相馬郡新地町杉目字飯樋 至:宮城県亶理郡山元町大平				延長	16km
事業概要	常磐自動車道は、関東地方と東北地方南部の太平洋沿いの主要地方都市を結び、産業、経済、文化の交流発展に資する路線である。					
H17年度事業化	H8年度都市計画決定		H20年度用地着手		H22年度工事着手	
全体事業費	約468億円	事業進捗率	15%	供用済延長	0.0 km	
計画交通量	6,000台					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業) 2.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 360 / 497億円 事業費:289 / 426億円 維持管理費:71 / 71億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 908 / 908億円 走行時間短縮便益:648 / 648億円 走行経費減少便益:191 / 191億円 交通事故減少便益:70 / 70億円	基準年 平成23年		
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C = 2.8 (交通量 +10%) B/C = 2.3 (交通量 -10%) 事業費変動 : B/C = 2.3 (事業費 +10%) B/C = 2.7 (事業費 -10%) 事業期間変動 : B/C = 2.6 (事業期間-1年) B/C = 2.4 (事業期間+1年)					
事業の効果等	当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する 緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる 他 7項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	宮城県知事の意見:常磐自動車道「新地～山元」事業の事業継続に異議ありません。 常磐自動車道は、東北縦貫自動車道とダブルネットワークを形成する国土縦貫軸であり、本県の高速交通網を大きく向上させると共に、災害時のリダンダンシーの確保など、防災力の向上にも寄与する、非常に重要な社会基盤と考えております。震災からの早期復興、富県宮城の更なる推進のために、必要不可欠な事業と考えておりますことから、復興道路として、1日も早い完成供用を望みます。					
	福島県知事の意見:1. 対応方針(案)については、異議ありません。 なお、東日本大震災からの復興を支援するため、早期完成に向け事業の促進に努めてください。					
事業評価監視委員会の意見	対応方針(原案)のとおり了承。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	平成23年3月11日の東日本太平洋沖地震により、並行するJR在来線が不通になり、当該路線に対する地元の期待が高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得がほぼ完了し、土工工事に全面着手したところ。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成26年度の完成を目指して事業を着実に推進している。					
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト削減を図っていく。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					

事業概要図



供用中区間

事業中区間

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。